

研究テーマ	[I 素材(材料や用具, 場所など)と出会い, かかわること] 合唱コンクールの曲から自分の思いや願いを形にしていく題材の工夫 ～中学1年生「わたしたちの曲」の実践を通して～
-------	--

水戸市立第二中学校 平戸 拓也

1 研究テーマについて

美術の学習では, 身の回りにあるものをよく見て本物そっくりに描いたり, 線をまっすぐにひいたりすることで制作を進める題材が多い。このような題材の場合, 形をしっかりと描くことができる生徒や手先が器用な生徒が, 上手であると周りの友達から評価される場合がある。逆に, そのような作業が苦手な生徒は, 美術嫌いの入口になってしまう場合もある。

そこで, 今回は形のない「音楽」を対象素材とし, そこから自分の思いや願いを言葉にして表現する。その言葉から連想した色や形を, 様々な種類があり, 自分の思いや願いにより近い形で表現しやすく, また, 偶発的に美しい形を見つけることもできるモダンテクニックを組み合わせて表現していく。この素材と表現方法を選択したことで, より自分の思いや願いを心のままに表現することができ, 自分の表現意欲を満足させることができるのではないかと考え, 今回の研究テーマを設定した。

2 研究の目的

生徒が自分の表現意欲を満足させるために, 形のない音楽から受けるイメージをモダンテクニックで表現することで, それぞれが自分の思いや願いを自由に表現することができる。

3 研究の仮設

形のない音楽から受けるイメージを, モダンテクニックを組み合わせて表現することで, 生徒が思いや願いを自由に表現することができ, 生徒の表現意欲を満足させることができるであろう。

4 授業の構想

学習指導要領の A 表現「(1)絵や彫刻などに表現する活動」の「ア 対象を見つめ感じ取った形や色彩の特徴や美しさ, 想像したことなどを基に主題を生み出すこと」をねらいとした題材である。素材として選んだ「音楽」というものは固定した形がなく, 聞き手がどのような情景を想像するかによって導かれる色や形は違ってくる。一人一人が違う情景を感じることができる素材のため, 得意不得意で作品が評価されることがなく, 完成した作品から制作者がより満足感を得られるのではないかと考えた。また, 個人が情景を想像する際に, 言語によりイメージを膨らませる方法をとった。これは, 言語を介することで, 音楽を聞いただけでは漠然としてしまう情景を頭の中で整理することができ, そこから色や形を考えやすくするためである。表現方法も, 自分の思いや願いを直感的に表現しやすいモダンテクニックを選択した。このモダンテクニックを選んだことで, 前述した対象素材と同じように得意不得意で作品が評価されることがなく, 自分が感じた情景を自分の思い通りに表現することができるのではないかと考えた。

5 ねらいに迫るための手立て

(1) 素材の「音楽」は合唱コンクールの合唱曲

素材の「音楽」を合唱コンクールでクラス全員が歌う合唱曲とした。合唱コンクールは, 1年間の行事の中でも, 生徒が主体的に取り組む行事の一つである。事前アンケートでも, ほぼ全ての生徒が金賞を目指しているという結果が出た。この意識の高さをいかにせば, 生徒の表現意欲が自然に高まると考えた。

(2) モダンテクニック体験の工夫

事前アンケートによるとドリッピングを小学校で体験した生徒が約半数いることがわかった。しかし, その他のモダンテクニックは体験したことがほとんどないという結果が出たため, まず最初にモダンテクニックを体験する時間を設けることにした。ただ, 週に1時間しか美術科授業がないため, この体験の時間を短くする工夫として, パビリオン形式の体験を考えた。美術室を3つのエリアに分け, 1時間に3つ, 2時間で6つのモダンテクニックを体験することができる

ようにした。また、モダンテクニックの説明をワークシートにまとめ前時に配布しておくことで、説明の時間を省くことができ、より多くの時間を体験・制作にあてるようにした。

(3) モダンテクニックで表現するための工夫

体験時に導入したパビリオン形式のエリアを6つに増やし、本制作のときにも自分が選んだモダンテクニックのところへすぐに行き制作を始められるようにした。また、作品の幅を出すためにも必ず自分の作品の中には2種類のモダンテクニックを組み合わせる約束も決めた。

(4) 選択できる紙の種類を増やす

モダンテクニックを表すためにいろいろな種類の紙を準備した。多くの種類の紙を使用することで作品に幅が出て、生徒の作品に深みができるのではないかと考えた。

6 実践例

(1) 題材名 わたしたちの歌

(2) 目標

- 合唱コンクール合唱曲の曲調や歌詞から、モダンテクニックの技法を生かして自分のイメージを表現しようとする。(造形への関心・意欲・態度)
- 自分のイメージに合うモダンテクニックを考え構想を練ることができる。(発想や構想の能力)
- モダンテクニックの様々な技法を確かめながら、合唱曲のイメージを工夫して表現することができる。(創造的な技能)
- 作品に対する思いや考えを紹介し合い、作品のよさや表現の工夫を感じ取ることができる。(鑑賞の能力)

(3) 学習計画 (7時間扱い)

時間	学習活動	評価の観点			
		関心・意欲・態度	発想・構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
1	合唱曲を聞き、その曲から受けるイメージを言葉で表す。	自分たちのクラスの合唱曲を聞き、その曲から受けるイメージを言葉で表そうとしている。			形のない音楽から、様々な言葉をイメージすることができる。
2	モダンテクニックを体験する。 ①ドリッピング スパッタリング マーブリング ②フロッタージュ バチック デカルコマニー	様々なモダンテクニックを進んで体験しようとする。		それぞれのモダンテクニックの特徴をつかみ、体験することができる。	
2 <small>本時は その1</small>	自分が感じたイメージをモダンテクニックで表現する。	自分が感じたイメージを、モダンテクニックを使いながら進んで表現しようとする。	様々なモダンテクニックの組み合わせを考えることができる。	体験したモダンテクニックを組み合わせ、より自分のイメージに近い作品を作ることができる。	
1	完成した作品を相互鑑賞する。	互いの作品を見せ合うことで、自分たちのクラスの合唱曲のよさを共通理解しようとする。			友達の作品と見合うことでその作品のよさに気付くことができる。

(4) 本時の指導

① 目標

- ・ 選択したモダンテクニックで合唱曲から受けたイメージを進んで表現しようとする。
(造形への関心・意欲・態度)
- ・ 体験したモダンテクニックを組み合わせ、自分のイメージに近い作品を作ることができる。
(創造的な技能)

② 準備・資料

- ・ ワークシート ・ スパッタリングセット ・ マーブリングセット ・ バチック用ろう
- ・ フロッタージュ用色鉛筆 ・ 用紙 (画用紙, 中質紙, ケント紙, 水彩専用紙, 半紙, 更紙等)

③ 展開

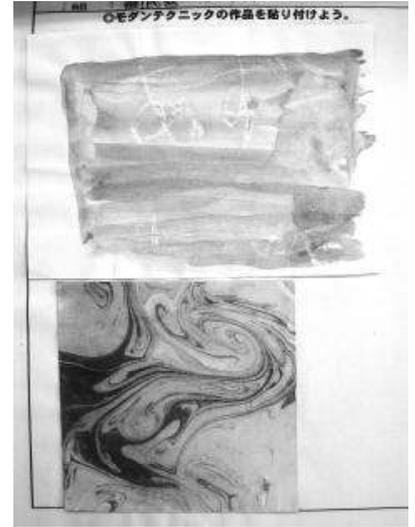
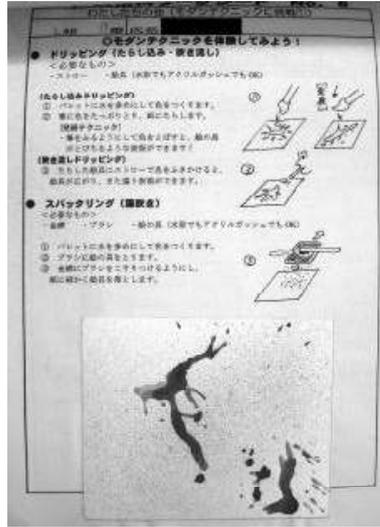
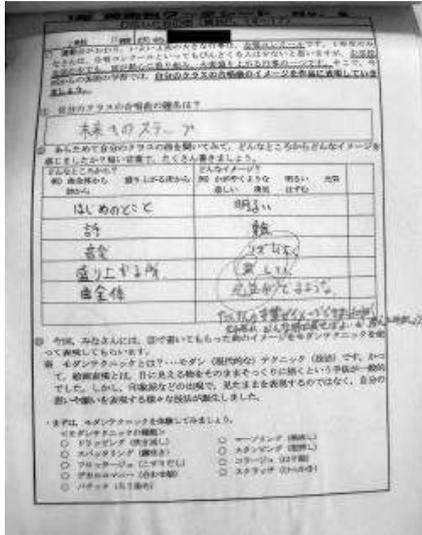
学習内容・活動	指導上の留意点・評価
<p>1 本時の課題を確認する。</p> <div data-bbox="145 622 715 750" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>どのモダンテクニックを組み合わせるかを考えて、合唱曲の自分のイメージを表現しよう。</p> </div> <p>2 合唱曲を聞いてイメージを確認する。</p> <p>3 技法や材料・用具の確認をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ワークシート ・ 資料 ・ 用紙 ・ その他 <p>4 自分が感じた合唱曲のイメージをモダンテクニックで表す。</p> <div data-bbox="140 1146 687 1713" style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <div style="text-align: center; margin-bottom: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px 10px;">イメージ</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>技法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ドリッピング ・ スパッタリング ・ マーブリング ・ デカルコマニー ・ フロッタージュ ・ バチック ・ コラージュ ・ その他 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>用紙</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 画用紙 ・ 中質紙 ・ ケント紙 ・ 水彩専用紙 ・ 半紙 ・ 更紙 ・ その他 </div> </div> </div> <p>5 後片付けをし、終了後反省を学習カードに記入する。</p> <p>6 次時の内容を知る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本時の活動を確認し、見通すことができるように助言する。 ・ 本時の自分のめあてを学習カードに記入するように指示する。 ・ 自分のワークシートを確認しながら、集中して合唱曲を聞くよう促す。 ・ 各モダンテクニックをする場の設定や、移動するときの注意などを簡単に話す。 ・ 教師が準備した用紙でなく、生徒が自分で用意した紙がある場合は、それを活用してもよいことを伝える。 ・ マーブリングを選択する生徒が多いと予想されるため、特設コーナーは大きめにしておく。 ・ フロッタージュに関しては、美術室の凹凸がある場所が必要となるため、自由に動いてよいことを伝える。 ・ ドリッピング、スパッタリング、デカルコマニー、バチックは道具を自分の席に運んで制作させる。 ・ 自分の席で制作する場合に、机を汚さないため新聞紙をしいてから制作するよう声かけを行う。 ・ 前時で体験したモダンテクニック以外のもの (スタンピング、ステンシルなど) を行いたい生徒がいた場合は、美術資料 (P.14~17) を参考にして制作するよう助言する。 <div data-bbox="738 1473 1460 1749" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>《評価》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 合唱曲から感じたイメージをモダンテクニックで進んで表現しようとしている。 (造形への関心・意欲・態度 観察) ○ 技法や用具の使用等を工夫して、合唱曲のイメージをモダンテクニックで表現している。 (創造的な技能 作品・観察) </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 作業が進んでいない生徒には、イメージ確認シートを参考にして、具体的にどのモダンテクニックで表現するかを共に考えながら支援する。 ・ 片付けが終了した生徒から自分の気付いたことや活動の反省などを学習カードに記入するよう指示する。 ・ 本時の活動を認め、次時の内容を確認する。

7 研究のまとめ

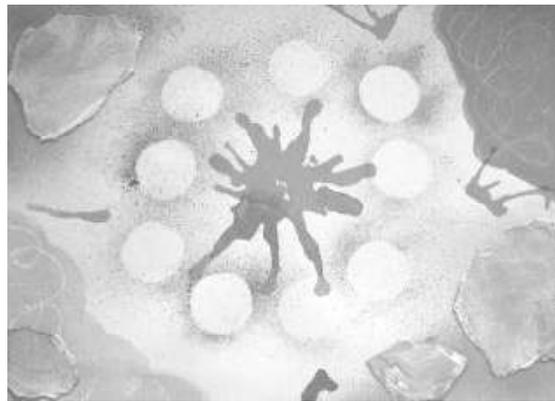
○ ある生徒のワークシートをもとにしてまとめる。

① 合唱コンクール曲を聴き、 → ② モダンテクニックを体験した。 ↘
 感じた情景を言葉で記入した。

(左：ドリッピング、スパッタリング 右：パチック、マーブリング)



③ 合唱コンクール曲から、モ → ④ 作品制作 (下は完成作品)
 ダンテクニックを選択した。



- 自分のクラスの合唱曲を素材としたため、生徒一人一人が曲調をつかもうと熱心に聴き入ったり、どのモダンテクニックを使えば思い通りに表現できるかを熱心に考えたりする姿が見られ、意欲的に作業に取り組めた。(①, ③)

- モダンテクニックの体験の場を設定したことで(②)、それぞれのテクニックへの興味が高まり、理解も深まった。そのことから、曲からどのモダンテクニックを使えばよいかを考えると、生徒は素直に発想することができた。(③)

- 制作時に、モダンテクニックをパビリオン形式にしたことで、自らが選択したモダンテクニックを自分の考えで好きなタイミングに制作することができた。そのことで、生徒の思考の流れを途切れさせることなくそのままに制作に取り組ませることができた。

8 課題

- 様々なモダンテクニックを体験することで、選択肢の幅を増やしたものの、マーブリングやスパッタリングなどを選択する生徒が多く、その他のテクニックにも目を向けさせるような工夫が必要であった。
- 紙を数種類準備し、生徒に選択させたが、紙への工夫があまり見られなかった。事前に、数種類の紙をモダンテクニックで試すことで、それぞれの効果や制作後の雰囲気の違いを生徒へよりわかりやすく伝え、紙にも意識を向けさせる工夫が必要であった。
- 合唱曲は意欲を高めるために最適であったが、クラス全員が似た雰囲気の作品になってしまったため、素材を生徒一人一人の思い出の曲などにしてもよい。